



# 住まいの耐震診断を行う

地震の被害から命を守るためには、住宅の耐震性を高めることが重要です。問診1～10にある該当項目の評点を、集計してください。

(例えば、問診1の場合ご自宅を新築したのが昭和60年(1985年)でしたら、評点1となります)

問診1～10の評点を合計します

評点合計

点

10点
8～9点
7点以下

判定・今後の対策

ひとまず安心ですが、念のため専門家におたずねください。
専門家に診てもらいましょう。
心配ですので、早めに専門家に診てもらいましょう。

※ご注意/この診断では地盤については考慮していませんので、ご自宅が立地している地盤の影響については専門家におたずねください。

## 1 建てたのはいつ頃ですか？

建てたのは昭和56年(1981年)6月以降。	1
建てたのは昭和56年(1981年)5月以前。	0
よく分からない。	0

評点
----

## 2 今までに大きな災害に見舞われたことはありますか？

大きな災害に見舞われたことがない。	1
床下浸水・床上浸水・火災・車の突入事故・大地震・崖上隣地の崩落などの災害に遭遇した。	0
よく分からない。	0

評点
----

## 3 増築について

増築していない。または、建築確認など必要な手続きをして増築を行った。	1
必要な手続きを省略して増築を行った。または、増築を2回以上繰り返している。増築時、壁や柱を一部撤去するなどした。	0
よく分からない。	0

評点
----

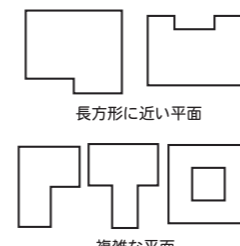
## 4 傷み具合や補修・改修について

傷んだところは無い。または、傷んだところはその都度補修している。健全であると思う。	1
老朽化している。腐ったり白蟻の被害など不都合が発生している。	0
よく分からない。	0

評点
----

## 5 建物の平面はどのような形ですか？

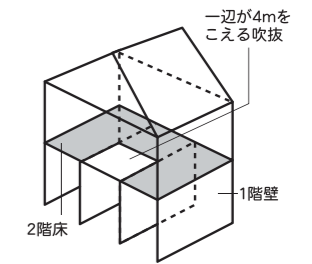
どちらかというとも長方形に近い平面。	1
どちらかというともLの字・Tの字など複雑な平面。	0
よく分からない。	0



評点
----

## 6 大きな吹抜がありますか？

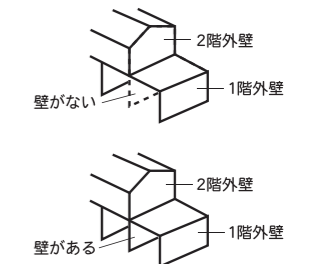
一辺が4m以上の大きな吹抜はない。	1
一辺が4m以上の大きな吹抜がある。	0
よく分からない。	0



評点
----

## 7 1階と2階の壁面が一致しますか？

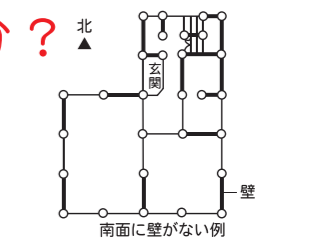
2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がある。または、平屋建である。	1
2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がない。	0
よく分からない。	0



評点
----

## 8 壁の配置はバランスがとれていますか？

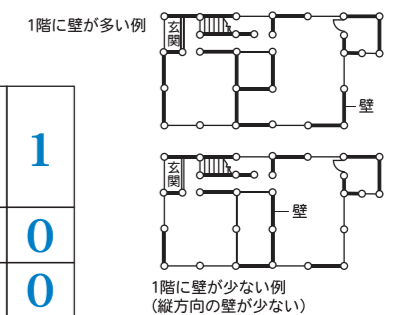
1階外壁の東西南北どの面にも壁がある。	1
1階外壁の東西南北各面の内、壁が全くない面がある。	0
よく分からない。	0



評点
----

## 9 屋根葺材と壁の多さは？

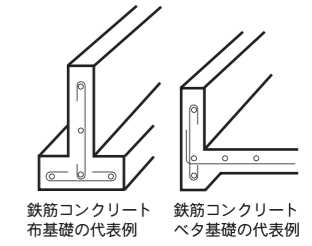
瓦など比較的重い屋根葺材であるが、1階に壁が多い。または、スレート・鉄板葺・銅板葺など比較的軽い屋根葺材である。	1
和瓦・洋瓦など比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない。	0
よく分からない。	0



評点
----

## 10 どのような基礎ですか？

鉄筋コンクリートの布(ぬの)基礎またはベタ基礎・杭基礎。	1
その他の基礎。	0
よく分からない。	0



評点
----